

主な内容

- P2……………郷土資料展示室 第10回企画展
秋の全国交通安全運動
- P3……………市の仕事いくらかかるの? 「防災備蓄」

放射線対策特別号

今号は、通常面を8ページとし、放射線対策に関する特別号を折り込んでいます。

発行 柏市 〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号 ☎(04)7167-1111 編集 秘書広報課 発行日 毎月1・15日

市の情報を「活用」する

災害時の情報収集方法などの再確認をしてください。市ではこの他にも、ホームページや近隣センターへの臨時広報の掲示などで、市民の皆さんに情報提供を行います。

防災マップの再確認を

「かしわぼうさいマップ」は、市のホームページで見ることができます。また、各近隣センターでその地域のマップを配布しています。家族で避難場所などの確認をしましょう。



携帯電話を活用する

今回の災害発生時には、携帯サイトで逐一情報の掲載を行いました。また、「かしわメール配信サービス」では緊急情報等をお伝えしていますので、登録をお願いします。



防災行政無線を「聞く・見る」

「聞こえない」という指摘を多くいただき、次の方法でも併せてお知らせします。

- ・メール配信サービス
- ・ホームページでの掲載
- ・確認用電話の開設
(☎0120-280-1311)



地震に備えを

9月1日は「防災の日」

未曾有の被害をもたらした東日本大震災によって、あらためて地震への備えの大切さが認識されました。柏市を含む南関東でも、高い確率で直下型地震の発生が予想されています。9月1日は「防災の日」です。自分や家族の命を守るため、できることから地震への備えを始めましょう。

問 防災安全課 ☎7167-1115



「災害に強い」自分・家族になる

チェックリストは一例です。実際に震災が起こったことを想像し、情報収集をして、自分・家族に合った備えをしてください。

「家の中」を安全にする

家具等が転倒し、けがをしたり避難できなくなったりしないよう、固定や置き場の見直しを行いましょ。背の高い家具や重量のある家電製品は要注意です。

- 耐震金具の利用や、重いものを下にするなど収納の工夫を
- 出入り口や通路には物を置かない
- 寝室や子ども・高齢者のいる部屋に倒れそうな家具を置かない



家族の連絡体制を構築する

いざというときに慌てないよう、家族や親戚、知人の連絡先、常備薬やかかりつけ医などの情報の持参を。電話やインターネットの伝言板サービスも、戸惑わないよう体験しておきましょう。

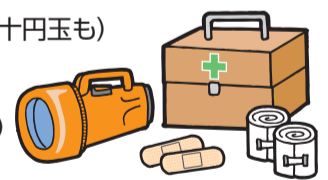
- 「防災カード」やメモを作り、携帯する
※市のホームページからダウンロードできます
- 災害用伝言ダイヤル「171」の体験
- 携帯電話・PHSの伝言板の体験
※毎月1日・15日、防災週間(8月30日～9月5日)などに体験利用可
- 帰宅困難時の対応の確認(詳しくは2面をご覧ください)



非常備蓄品・持ち出し品を準備する

食糧や飲料水を備蓄しましょう。避難時の最低限の必需品も準備し、それぞれリュックサックを用意して持ち出しやすい場所に保管を。

- 最低3日分の非常食・水(1人1日3リットル分)
- 貴重品がすぐに持ち出せる(公衆電話用の十円玉も)
- 懐中電灯・携帯ラジオ(予備電池も)
- 救急医薬品(傷薬、ばんそうこう、常備薬)
- 家族構成に合わせた準備



乳幼児	粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、離乳食、バスタオル
妊婦	脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、新生児用品、母子健康手帳
要介護者	紙おむつ、常備薬、障害者手帳

- その他の日用品(衣類、簡易トイレ、軍手など)

地域で助け合う

いざという時に助け合えるのは近所の人たちです。

- 普段から近所付き合いを大切にする
- 防災訓練には誘い合って参加する

柏市公式ウェブサイト <暮らし>消防・防災>災害(地震・洪水など)をご覧ください

外国人のための防災体験ツアー

万が一の時に備えて、地震の時にどうすればよいか、いろいろな疑似体験を通して学びます。

時 9月17日(土)午前10時30分～午後5時

所 本所防災館(墨田区)

集合場所/市役所本庁舎玄関前

対 市内在住・在勤・在学の外国人とその家族、先着45人※日本人の参加も可

費 無料

持 昼食

申 9月2日(金)午前9時から、柏市国際交流協会へ電話で

他 動きやすい服装で参加を

問 柏市国際交流協会 ☎7144-1300 (水・日曜日、祝日は休み)・協働推進課 ☎7167-0941

1面からの続き

大きな地震が起きると交通がストップします。その時あなたは…

東日本大震災と同様に、昼間に大地震が発生した場合、公共交通機関が止まり、多くの帰宅困難者の発生が予想されます。帰宅困難者になった場合、むやみに移動を開始せず、まず家族の安否確認と災害情報の収集を行ってください。

家族の無事が確認できたら、急いで帰宅せずに安全な場所に避難して、公共交通機関の再開を待ちましょう。再開の見通しがない場合、避難所などにとどまるか、徒歩で帰宅することとなりますので、日頃から備えておくことが大切です。



東日本大震災発生翌日の柏駅

備えのポイント

通勤・通学者は

- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、携帯ラジオ、手袋、飲料水、携帯食糧などを用意しましょう
- 実際に歩いて帰宅経路の状況を確認し、帰宅地図を作成しましょう
- 家族と安否確認方法を決めておきましょう

事業者は

- 従業員や利用者が帰宅できない場合、事業所で寝泊まりできるように備えてください
- 従業員の安全な通勤や業務の継続性を確保するため、必要な物資などの準備や行動ルールを決めておきましょう

夕暮れは 早めのライトに 反射材

秋の全国交通安全運動 9月21日(水)～30日(金)

問 交通施設課 ☎7167-1304

秋口は日没時間が急激に早まります。夕暮れ時は、昼間と同じようには見えていないことを自覚し、昼間以上にしっかり安全確認をしましょう。

車や自転車のかたは早めにライトを点灯し、歩行者のかたは目立つ服装や反射材を身につけ、周りの車の動きにも十分注意をしましょう。

道路を横断する際は、信号機のある所か横断歩道を渡りましょう。

女性のためのドライビングスクール

時 9月26日(月)午前9時～午後1時※雨天決行

所 柏自動車教習所(松ヶ崎)

対 市内在住の女性で、運転免許を取得したいかたや日ごろ運転しているが、もう一度ポイントを学びたいかた、20人

内 危険予測運転、基本走行・シミュレーター、運転免許取得相談など

費 無料

申 9月13日(火)までに、はがきに4面右上の必要事項を書いて、〒277-0835松ヶ崎1201 柏自動車教習所へ郵送で(必着)※以前参加したかたを除く。応募者多数の場合は抽選。当選者には電話で連絡

問 柏自動車教習所 ☎7143-8181

重点目標

1. 子どもと高齢者の交通事故防止
2. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
3. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
4. 飲酒運転の根絶

交通安全の集い

時 9月27日(火)午後1時30分～4時

所 市民文化会館大ホール

定 1,000人(全席指定)

内 高齢者向け交通安全教室、演歌歌手・成田理恵歌謡ショー

費 無料

申 9月10日(土)までに、往復はがきに4面右上の必要事項と参加希望人数(5人まで)を書いて、〒277-0835松ヶ崎722-1 柏警察署内 柏交通安全協会事務局へ郵送で(当日消印有効)※応募は1人1通。応募者多数の場合は抽選

問 柏交通安全協会 ☎7148-0300

郷土資料展示室 第10回企画展

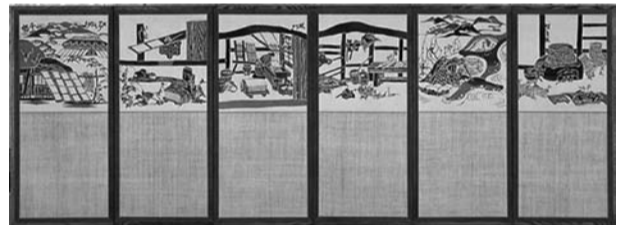
企画展「西からの風」

手賀沼周辺の古墳の出現

倭国大乱の時代に手賀沼周辺に移り住んできた人々と、この頃に造られ始めた古墳(出現期の古墳)について紹介します。



人間国宝 芹沢銈介作品展
「手仕事の風景」染・織・陶・紙 II
各地の窯場や紙すき場など、手仕事にまつわる情景を描いた作品を紹介します。



小川紙漉六曲屏風

開催期間 / 9月17日(土)～来年1月15日(日)※年末年始月曜日は休室(祝日は開室)
開室時間 / 午前9時30分～午後5時
費 無料
他 9月12日(月)～16日(金)は展示替えのため休室
問 郷土資料展示室 ☎7191-1450・文化課 ☎7191-7414

☆EVENT☆イベント☆

積水化学女子陸上競技部と走ろう！ ジョギング教室

市内に練習拠点を置く、積水化学女子陸上競技部の協力・指導の下、手賀沼エコマラソンをはじめとするハーフマラソンの完走を目指した初・中級者向けのジョギング教室を開催します。

時 10月9日(日)午前9時～11時

所 中央保健センター、柏ふるさと公園周辺

対 市内在住のジョギング初心者～中級者、先着30人

内 ジョギングの基礎と、レベルに合わせた練習メニュー

費 無料

申 9月5日(月)午前9時から、協働推進課へ電話で

問 協働推進課 ☎7168-1033

沼南の暮らしと文化再発見

「今でも生きている「昔の心と生活模様」」

時 9月19日(月)、11月26日(土)、12月3日(土)・10日(土)午前10時～正午(計4回)

所 沼南公民館

対 市内在住、在勤の成人のかた、40人

内 手賀沼の今と昔「手賀沼にまつわる話」、筆子碑(ふでこひ)にみる「沼南の師弟愛」・沼南の偉人「弁栄上人」、東葛印旛送り大師、明治の社会事業家「原胤昭」

申 9月8日(木)までに、往復はがきに4面右上の必要事項を書いて、〒277-0922大島田440-1 沼南公民館へ郵送で(当日消印有効)※応募者多数の場合は抽選

問 沼南公民館 ☎7192-1111

国際交流の夕べ

「ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジーコンサート」

美しく透明な水晶の歌声と、民族楽器バンドウーラの可憐(かれん)な響きで癒しのひとときを過ごしませんか。会場では、東日本大震災復興のための募金を行い、支援活動につなげます。

時 9月22日(木)午後7時～9時

所 アミュゼ柏

定 400人

費 無料

申 9月10日(土)までに、往復はがきに4面右上の必要事項(氏名は希望者全員、3人まで)を書いて、〒277-0852旭町1丁目4-18後藤ビルⅢ3階 柏市国際交流協会へ郵送で(必着)※応募者多数の場合は抽選

問 柏市国際交流協会 ☎7144-1300 (水・日曜日、祝日は休み)・協働推進課 ☎7167-0941



市のしごと? いくらかかるの?

緊急災害時への備え 防災備蓄

大地震などが発生すると、建物倒壊や火災、ライフラインの寸断などにより、一時的に多くのかたがたが避難所生活を余儀なくされます。市では、こうした避難所生活で最低限必要な生活必需品や資機材を備蓄しています。今号では、こうした備蓄品について、費用面からお知らせします。

問 防災安全課 ☎7167-1115



備蓄の考え方

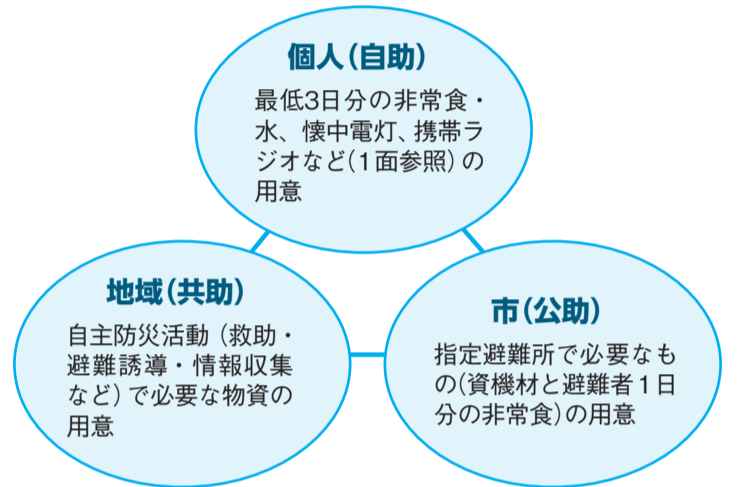
平成18年に行われた「地震被害想定調査」では、柏市で一番大きな被害をもたらす直下型の地震が発生すると、最大で約7万人が避難者になるとの調査結果が出ています。災害発生時には、平常時では考えられない市場流通の混乱、物資の入手難が予想されます。

道路の混乱が収まり、流通がある程度回復し、他地域からの救援物資が到着するまで、およそ3日かかると想定しています。このため、

「自分たちの命は自分で守る。自分たちの地域は自分で守る」という「自助」「共助」を基本に、市民の皆さんには「3日分の備蓄」をお願いしています。市では個人や地域では備蓄しにくい物資と避難が必要なかたのために、目標を定めて計画的に備蓄しています。

なお、備蓄品は42カ所に設置した防災備蓄倉庫に保管しています（防災マップに場所が記載されています）。

個人・地域・市の主な備蓄役割



備蓄にかかる費用(平成22年度実績)

- 購入費 約834万円
- 維持管理費 約184万円

- 毛布の洗濯・真空パック代(防カビ・防虫対策) 約143万円
- 発電機のメンテナンス代 約41万円



備蓄品目と購入費用

品目	目標		平成22年度購入実績		在庫数
	数量	根拠	数量	金額	
毛布	30,000	り災者数×1枚	—	—	32,165
仮設トイレ	400	4台/各避難所	10	2,430,000円	280
簡易トイレ	3,000	30台/各避難所	25	495,000円	2,537
〃 便袋	600,000	200枚/簡易トイレ(3,000台)	5,000	650,000円	275,014
〃 収納袋	60,000	20枚/簡易トイレ(3,000台)	500	90,000円	26,610
バーナーセット	100	1台/各避難所	1	487,000円	66
かまどセット	300	3台/各避難所	—	—	255
投光機	100	1台/各避難所	—	—	75
発電機	200	2台/各避難所	10	846,000円	135
リヤカー	200	2台/各避難所	5	420,000円	129
避難所用マット	21,350	350枚/61避難所	—	—	4,514
パーティション	200	2台/各避難所	10	565,000円	103
防水シート	10,000	100枚/各避難所	50	265,000円	5,603
非常食	210,000	想定避難者(7万人)×3食	8,000	2,092,000円	148,966

そろえば終わり?

防災備蓄品は単にそろえれば大丈夫という訳ではなく、緊急時に活用できるよう維持費を掛け、管理しています。

市では、その費用を抑えるため、毛布の管理方法を効率よくするなど、歳出の削減を図っています。

備蓄品は十分?

防災備蓄品の中には、目標数量に達していない物資が多くあります。現在は、備蓄倉庫のスペースや購入の優先順位などを考慮して物資の確保に努めています。

災害時に必要となる物資を完璧に用意し、維持することは困難です。このため、災害時に大型スーパーなどの事業者から提供を受けるという協定を取り交わし、緊急時の物資確保に備えています。

災害に備えて

現在市では、「自助」「共助」を基本に、限られた予算の中で備蓄品を徐々に買い足しています。今回の震災を教訓に、必要な物資や目標数を見極め、配備計画の見直しなどの改善を進めていきます。既に備蓄品の配備箇所については見直しを行い、避難所となる近隣センターや学校へ初動期に最低限必要な物資を順次配備しています。

市民の皆さんも、生命を守るという視点から、災害に対する備えを十分にさせていただきをお願いします。事前の準備を強化することで、災害に強い地域づくりを一緒に目指していきましょう。

今後起こりうる災害にどう対応するか 柏市長 秋山 浩保

防災対応の基本的な考え方は、個人と地域と市がそれぞれの役割を担うということです。例えば、個人では最低3日分の食糧などの備蓄をお願いしています。これは高速道路や幹線道路が寸断された場合、食糧到着までに3日以上掛かることが想定されていることから、この期間は皆さんに対応していただかなければなりません。また、電話網が寸断され連絡が取れなくなった場合、市からの情報は地区災害対策本部が置かれる近隣センターから発信します。近隣センターに集まった情報をどう地域に展開するか、これが地域の役割の一つです。

今回の震災を通して、市が今後の防災備蓄の学びにしなければならないことの一つに、長期間のライフライン寸断への対応が挙げられます。特に、下水道が長期使用不能になった場合、それは長期間トイレが使えないということになります。市としてどのように対応すればよいのか、あらためて再考しなければならないことを痛感しました。

防災備蓄を含めた防災計画について、もう一度考え直していきます。



楽しく子育て「0歳ルンルンクラブ」

初めての子育てを安心して楽しむため、親同士で子育て情報の交換やワークショップなどをしながら、一緒に仲間づくりをしていきませんか。

☎平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの第一子の子どもと保護者、各会場先着20組※⑥は先着15組

☎▶①～⑤＝9月2日(金)午前10時から⑥＝9月2日(金)午後1時30分から、各施設へ電話で▶⑦＝9月6日(火)午前10時⑧＝9月6日(火)午後2時⑨＝9月7日(水)午前10時⑩＝9月7日(水)午後2時から、しこだ児童センターへ電話で※応募者多数の場合は、近隣センター等の0歳講座に参加していないかたを優先

ところ・問い合わせ	とき	ボランティア説明会
①しこだ児童センター ☎7145-2522	9月27日(火)・10月11日(火)・25日(火)・29日(土)・11月1日(火)・8日(火)	9月20日(火)
②豊四季台児童センター ☎7144-5363	9月28日(水)・10月5日(水)・12日(水)・19日(水)・29日(土)・11月9日(水)	9月22日(木)
③高柳児童センター ☎7190-1348	9月30日(金)・10月14日(金)・21日(金)・11月6日(日)・11日(金)・18日(金)	9月16日(金)
④南部みんなの広場 ☎7173-1333	10月4日(火)・11日(火)・25日(火)・11月15日(火)・20日(日)・29日(火)	9月27日(火)
⑤光ヶ丘近隣センター内遊戯室 ☎7170-7600 (午前9時～正午・午後3時～5時)	10月24日(月)・29日(土)・11月5日(土)・14日(月)・28日(月)・12月4日(日)	10月20日(木)
⑥布施遊戯室 ☎7135-3960	9月29日(木)・10月6日(木)・13日(木)・29日(土)・11月10日(木)・17日(木)	9月22日(木)
⑦柏一小こどもルーム	9月29日(木)・10月6日(木)・13日(木)・27日(木)・11月10日(木)・17日(木)	9月29日(木)
⑧松葉二小こどもルーム	10月7日(金)・14日(金)・28日(金)・11月4日(金)・11日(金)・18日(金)	10月7日(金)
⑨風早北部小こどもルーム	9月30日(金)・10月7日(金)・14日(金)・28日(金)・11月4日(金)・11日(金)	9月30日(金)
⑩田中近隣センター	10月12日(水)・19日(水)・29日(土)・11月2日(水)・9日(水)・16日(水)	10月12日(水)

●時間はいずれも午前10時～11時15分(各計6回) ●②・⑤・⑦～⑨は駐車場はありません ●⑦～⑩の問い合わせは、しこだ児童センターへ

子ども工作実験教室



紙コップでダンスロボットを作ろう

時9月17日(土)午前10時～正午
 対小学4～6年生、35人
 用鉛筆、色鉛筆かマジックペン、セロハンテープ、接着剤、はさみ(あるかたはカッターナイフ)
 用9月8日(木)までに、往復はがきに6面右上の必要事項と学年・性別・保護者の氏名を書いて、〒277-0922大島田440-1 柏市沼南公民館へ郵送で(必着)※応募者多数の場合は抽選
 用 沼南公民館 ☎7192-1111

シニア倶楽部

各施設の催し

催し	とき	対象	内容	費用・持ち物	申し込み	ところ・問い合わせ
①みんなで歌おう季節の歌	9月10日(土)午後1時30分～3時30分	市内在住で60歳以上のかた、先着30人	講師の伴奏で季節の歌を歌ったり、歌に関するクイズなどをしたりします	無料	▶①＝当日、会場へ直接 ▶②＝9月7日(水)、③＝9月15日(木)までに、往復はがきに6面右上の必要事項と応募の動機を書いて(③は第1・第2希望までの参加希望日も)、〒277-0051加賀3丁目16-8 ぼのぼのプラザますおへ郵送で(必着)※応募は1人1通。②は応募者多数の場合は抽選。③は第1希望日の人数が多い場合は、第2希望日になります	ぼのぼのプラザますお ☎7170-5570
②脳いきいき・アートを楽しもう	9月17日、10月1日・15日・29日、11月12・26日、12月10日の各土曜日午後1時30分～3時30分(9月17日は午後3時まで。計7回)	市内在住で60歳以上のかた、20人	あなたの感性を表現してみませんか。五感を使い、さまざまな画材で美術創作を楽しみます	各回500円(初回を除く)。筆記用具の持参を		
③ぼのぼのプラザますお体力テスト	10月8日(土)・12日(水)＝午前10時～正午、10月13日(木)・14日(金)・25日(火)＝午後2時～4時	市内在住で60歳以上のかた、各日30人	握力・柔軟性・バランスなど日常生活に必要な体力を測定します	無料。動きやすい服装と靴で		
④介護予防講座「クラフトテープで作る便利バッグ講座」	9月26日(月)・27日(火)午前10時～午後3時(計2回)	市内在住で60歳以上のかた、10人	梱(こん)包バンドを使って、軽くて丈夫で簡単なバッグを作ります	各回800円。はさみ・鉛筆・昼食の持参を	9月2日(金)～8日(木)の午前9時30分～午後4時に、いこい荘へ電話か直接(日曜日、祝日を除く)※応募者多数の場合は抽選	いこい荘 ☎7192-1401

東日本大震災の影響により、本紙掲載の講座・講演・催しなど中止になる場合があります※詳しくは問い合わせを

キッズルーム



はがき・ファクスなどの記入内容

下記の要領で必要事項を記入。往復はがきの場合は返信面の宛先を記入してください

- ①希望する講座・催し名 ②〒・住所
 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号

障がいのある子も ない子もいっしょに遊ぼう

秋の手賀の丘 釜のめしキャンプ

障がいのある子も ない子もいっしょに遊ぼう
 一緒に少年自然の家に泊まって、「同じ釜のめしを食う」ことを目的に、料理や野外レクリエーションを楽しみます。

釜のめしボランティア募集!

とき	ところ	内容	とき(ボランティア)
10月2日(日)午前10時～正午(保護者同伴)	中央公民館	参加者交流会・説明会	10月2日(日)午前9時～午後2時
10月15日(土)午後2時～翌16日(日)午後2時(1泊2日)	手賀の丘少年自然の家※現地集合・解散	レクリエーション活動・食事作りなど	10月15日(土)正午～翌16日(日)午後3時(1泊2日)

用▶障がいのある小学3年生～中学生、先着10人(付き添いが必要な場合は保護者か介助者同伴)▶障がいのない小学3年生～中学生、先着40人

用2,500円(保護者・介助者は食費など実費)

用9月3日(土)午前10時から、しこだ児童センターへ電話で

用しこだ児童センター☎7145-2522



対象は1歳6か月～3歳児と保護者。みんなで「わいわい」楽しもう!

ミニなかよし広場

市内の公園で、保育士と一緒に手遊びや紙芝居・エプロンシアターなどを楽しみます。

用 別列表参照 用 当日、会場へ直接

子育てサークルへの遊びの支援

定期的に活動している子育てサークルへ保育士が出向き、子どもとの遊び方やおもちゃ作りなどを指導します。

◎詳しくは豊住保育園へ問い合わせを

用 豊住保育園 ☎7174-7197・保育課 ☎7167-1137

ミニなかよし広場の日程

とき	ところ
9月5日(月)	高田緑地(高田)
8日(木)	中原ふれあい防災公園(中原1丁目)
15日(木)	高野台児童遊園(根戸)
22日(木)	名戸ヶ谷第二公園(新柏1丁目)
26日(月)	松ヶ崎中央公園(大山台1丁目)
29日(木)	南部公園(新逆井2丁目)
10月3日(月)	松葉第二近隣公園(松葉町4丁目)
6日(木)	光ヶ丘中央公園(光ヶ丘団地)
13日(木)	しいの木公園(しいの木台2丁目)
17日(月)	南柏児童遊園(南柏2丁目)
24日(月)	千代田町公園(千代田2丁目)
27日(木)	豊四季(かのえ)塚緑地(豊四季)

※時間は午前10時30分～11時30分(雨天中止)

介護支援サポーターを募集!

介護支援サポーターとして登録し、指定の高齢者施設などでボランティア活動に参加できるかたを募集します。同サポーターは活動時間に応じてスタンプが付与され、年額5,000円を上限に奨励金があります。登録を希望するかたは、次の説明会にご参加ください。

用9月21日(水)・27日(火)午前10時～正午 ※両日も同じ内容

用いきいきプラザ

用市内在住で65歳以上のかた、各日先着60人

用9月15日(木)までに、はがきに6面右上の必要事項と参加希望日・生年月日・ファクス番号(あるかただけ)を書いて、〒277-0005柏5丁目8-12 柏市社会福祉協議会ボランティアセンターへ郵送(必着)するか FAX 7165-1355で

用ボランティアセンター☎7165-0880

